

ストーリーを構成する文化財群

人吉球磨に広がる相良 700 年の文化財群

くましょうちゅう 球磨焼酎	人吉球磨地域において、江戸時代では貴重だった米を主原料としての醸造が相良氏によって認められ、庶民に至るまで愛飲された酒。450 年以上の歴史を誇る。
ひやくたろうみぞ こうのみぞ 百太郎溝と幸野溝	人吉藩領内の米生産を支えた長大な灌漑用水。藩や地域住民により長い年月をかけ開削事業が行われ難工事の末に完成した用水であり、現在でも貴重な農業用水として使用されている。
ひとよし くま みんな 人吉球磨の民謡	人吉球磨地域の民衆の生活から生まれ、長く唄われてきた民謡は、人々が集まると誰ともなく自然と唄われ始める。特に宴会で焼酎が始まると終わりを知らない。
しょうちゅうばか 焼酎墓	酒好きの人間であったことを思わせる戒名や、墓石が「とっくり」のもの、笠が盃であるものなど、焼酎文化を伝える墓。
くまけん 球磨拳	じゃんけんのルーツとも言われる拳遊び。宴会の余興としては、勝負に負けた方が焼酎を飲むのだが、焼酎飲みたさにわざと負ける者もいたとか。
こうしんしんこう こうしんとう 庚申信仰と庚申塔	戦国期以降に流行する庚申信仰に係る庚申塔で、「庚申」を刻んだ文字塔と「青面金剛」などの像等がある。他地域のものより巨大な庚申塔が、数多く人吉球磨地域に現存している。
さがらさんじゅうさんかんのん 相良三十三観音めぐり	人吉藩家老井口氏により藩内に三十三観音が選定され、御詠歌が作られて以後、各札所は地域住民の精神的な拠り所として信仰を集め続けている。
くまかぐら 球磨神楽	青井阿蘇神社おくんち祭の宵宮奉納を皮切りに郡内 43 神社で奉納されてきた神楽。相良氏の厚い保護を受けた神楽の見物は民衆の娯楽でもあった。
うすだいこおど 白太鼓踊り	相良氏による武道奨励・士気鼓舞を目的に始められたとされる踊り。領民によって長く伝承され、現在も郡内各地で踊り続けられている。
くまがわ 球磨川	相良氏は、水量が豊富な球磨川を交通および米や木材などの物資の輸送に大いに利用した。明治時代に入り鉄道運輸に取って代わられるが、水運の伝統は、現在の観光「くま川下り」に受け継がれている。



▲白太鼓踊り



▲球磨焼酎



▲相良三十三観音めぐり

日本一豊かな隠れ里

「人吉球磨」ガイドアプリが登場!

無料版スマートフォンアプリ：iPhone 版 / Android 版

“Tee Pee Guide 人吉球磨”

【ご利用ガイド】

このアプリは、人吉球磨地方のスポット情報を紹介しつつ、それぞれの地域にあわせた読み物などのオリジナルコンテンツを追加した人吉球磨旅行のガイドブックです。旅先の選択、旅先の計画、旅先での散策時にきつとお役に立てるはず。ぜひご利用ください!



ダウンロード無料!
Wi-Fi環境でご利用ください。



iPhone用



Android用

■問い合わせ先 人吉球磨日本遺産活用協議会 (事務局 人吉市教育委員会 歴史遺産課)
〒868-8601 熊本県人吉市麓町 16 番地 (人吉城歴史館内)
TEL 0966-22-2324 FAX 0966-22-2134 e-mail rekishiisan@city.hitoyoshi.lg.jp

祝 Japan Heritage 日本遺産認定

相良700年が生んだ保守と進取の文化

～ 日本でもっとも豊かな隠れ里 - 人吉球磨 ～

人吉球磨地域は、鎌倉時代から明治維新までの約700年間にわたり相良氏が治めた全国でもめずらしい地域です。

相良氏はウンスンカルタや球磨焼酎など民衆の文化を尊重しつつ、寺社に都の建築様式を用いるなど新たな技術も取り入れ、国宝青井阿蘇神社など歴史的・文化的価値が高い社寺や仏像が信仰の対象として大切に受け継がれてきました。

この「相良700年」に受け継がれた文化財や風習、地域の歴史を結びつけて紡がれた物語が、日本の文化・伝統の魅力を伝えるものとして日本遺産に認定されました。



▲国宝 青井阿蘇神社



▲国指定重要無形民俗文化財 球磨神楽

日本遺産とは

地域の歴史的の魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語る「ストーリー」を認定するというもので、文化庁が平成 27 年度から創設した制度です。文化財そのものが認定の対象となるわけではなく、ストーリーを語る上で不可欠な有形・無形の文化財群を地域主体で整備・活用し、国内外に発信することで、観光振興や地域の活性化を図ることが目的となっています。



JAPAN HERITAGE

日本遺産